

23/6/15 名古屋市議会財政福祉委員会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

9:32

委員長 吉田茂(自民・港区)：はじめる
委員間討議は意見を聞いてやる

健康福祉局長：障害者差別に係る法令等の
基本的な考え方について
6/3 差別発言 あってはならない
障がい当事者の気持ち 察するにあまりある
不快な思いを抱かさせた 大変遺憾
健康福祉局として心よりお詫び
障害理由の差別解消
いまなお差別や偏見
これまで以上に取り組む
基本的な考え方
総務課長から説明

総務課長：資料説明

6/3 バリアフリー市民討論会

憲法 法の元の平等

法令 障害者基本法 他者と共生

障害者差別解消法

名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000114033.html>

だれもが人権を有する

建設的な対話を

委員長 吉田茂(自民・港区)：質疑があれば

岩本たかひろ(自民・緑区)：委員会を開かないと行けないのは残念

中区役所会議室

参加するとしたら2時からスタート

車か地下鉄 導線を気にすること無く1時間ほど

バリアフリー 車いすで参加1名

どうやって バス?地下鉄? 6階

地下鉄 段差解消 スロープ
改札も車いす通れるように
時間を掛けて会場に向かった
こんなことが起こった いかんとおもう
会議はどれくらいかかったのか

担当主幹：14時開始 予定2時間
16時20分過ぎ

岩本たかひろ(自民・緑区)：休憩あったのかわからないが、
お手洗い バリアフリー設備はあったのか

担当主幹：中区役所6階会議室
トイレ設置されていない

岩本たかひろ(自民・緑区)：配慮が欠けていた
令和3年6月4日改正
来年4月1日 民間にも合理的配慮をお願いします
合理的配慮していないのは違和感
マスコミ報道 障害者差別 どういった事例か

担当主幹：お手元の資料 法の元の平等に反する
障害者基本法、障害者差別禁止法
今回 差別発言+障害を理由 サービスを停止

岩本たかひろ(自民・緑区)：内容
今回の討論会の事件 なにが当てはまるのか

障害福祉部長：車いす 揶揄する発言
「わがまま、ずうずうしい、がまんせえ、
そんな金はもったいない、差別表現」

岩本たかひろ(自民・緑区)：どの部分が当たるのか
公の中で表現ができないものもあった
私も発言できない
導線の話 いろんなことを考えながら 自分の思いを
足を運び、昨日の総務環境委員会 36対1

だれも声をかけてくれなかった
どんな思いだったのか 察するにあまりある
明確な障害者差別ある

局長：身体的なハンディキャップ 間違いなく差別
車いすを使用して参加した それを踏まえた差別
法体系の話をした
国連採択 平成26年批准 障害者権利条約
あらゆる区別、排除、制限
そちらの車いすの方「我慢せえ、わがまま、ずうずうしい」

岩本たかひろ(自民・緑区)：残念なこと
日頃から移動 会場に参加
批難するつもりでは無いが、そのような思いで来られた方
いつ知ったのか

担当主幹：事前に観光文化交流局から実施すると情報提供
把握をしておきたい
障害企画課から職員1名傍聴

岩本たかひろ(自民・緑区)：いつか
こういうことが起こりえる 十分に予知できた
どのようなやり取りがあったか

担当主幹：5/12 情報提供
市民アンケートを既に実施 6/3 に討論会
大まかな進行 意見があればと聞かれた
私ども 障害者差別解消法 中で行って
進行上の課題 想定されるのではとはしなかった

岩本たかひろ(自民・緑区)：今回想定しなかった
リスクマネジメントができてなかったのか

担当主幹：5/12 打合せ 全く思い至らず
観光文化交流局からも説明・助言求められなかった

岩本たかひろ(自民・緑区)：なぜだ

健康福祉部 当日会場にお見えになった
止められる状況だったのか

担当主幹：私が参加していた
市民の方の後方に関係者席
市長、副市長が前列目
私は三列目
前後市の職員が座っていたのではないかと
差別用語意識した 全体的に不適切
大変悲しい気持ち
なされていいのか 怒りの感情があった
結果として発言の制止、事後のフォローはできなかった
担当主幹職員 大変反省
しかるべき対応ができるように

岩本たかひろ(自民・緑区)：市長がいて、副市長がいて、
局長がいて
上の者がいたときに、本来は行かないといけない
だからこそ市長、副市長がしっかりしないと
「討論会」違和感
アンケートは過去会った
平成 26 年 ネットモニターアンケート サンプル 500
サンプル数少ない
城 二度と焼失しない だから鉄筋鉄骨
名古屋市民多くの声を聞かないと→20000 人アンケートをとった
私も経済水道委員会
所管事務調査を委員会で行った
どんなアンケート 中身も委員会議論した
年度が替わって、4月に同じ案件で3回所管事務調査
丁寧に行っていく
バリアフリー 関係の方と何回も意見
市民討論会 違和感を感じる
アンケート取った 集めて討論会 どうなのか
賛否がある 行政が対応出来る体制を
なぜアンケート取ったにもかかわらず討論会
市民の分断、悲しませた
討論会自体が不適切

障害福祉部長：アンケート調査 やることになったと報告
討論会 差別用語 人権配慮 制止できなかった
注意喚起できなかった
対応出来なかった、問題があった
事前のアンケート 忠実な復元
相当意見が対立することは想定できた
結果としてこんな状況
しっかり考えておかなかった 不適切

岩本たかひろ(自民・緑区)：準備が不十分だった
私もそう思う
今まで丁寧に進めてきた→計画が優先したが上に
スポーツ市民局 人権がないがしろ
計画がバリアフリーがないがしろ
「不十分だった」 討論会自体が不適切だったのでは
局としてどう考えるか

局長：担当主幹が出席したが、こんなことがおこった
申し訳ない
討論会 状況を画像、文字で見た
当事者のかたの発言 最初に武将隊の姿が
付加設備の方針
外付けのエレベーターは計画していないか
車いす 史実に忠実は反対していない
外から渡り廊下 後でつける
きちんとパワースーツ、VRはだめ
私の意見『障害差別がある』
私自身の思うところ 全体が不適切か？
さすがに全体が不適切とは申し上げられない
結果的として討論会が不適切な状況になった

岩本たかひろ(自民・緑区)：いろんな意見があった
準備が不十分
合理的配慮
拙速、私は討論会が不適切
事件 このようなことが起こった

市役所にどんな反応があったか
金メダル 非常に多くな市民の意見
どの程度あったのか

総務課長：今回の件 市に寄せられた意見
6/5-6/12 電話、FAX、市民の声 92件

岩本たかひろ(自民・緑区)：多いのか少ないのかおいておく
二度と置いておく
障害者差別無くするためにどうするのか

担当主幹：本人や家族 差別相談
関係機関と連携して調整 事案の解決 センター運営
令和4年度 210件
有識者会議、関係機関、障がい当事者
市民にアニメ、ガイドブック、学校企業団体講師派遣
昨年度78回

岩本たかひろ(自民・緑区)：二度と起こらない
具体的な取り組み 各局
どうするのか

障害福祉部長：反省
職員理解不足、具体的な行動不足
市民の理解不足と認識
職員に徹底、
関係局と調整 市職員ルール改正
条例 必要な改正
6/16 名古屋市障害者施策推進協議会でご意見伺いたい
市民にも徹底

岩本たかひろ(自民・緑区)：昨日の総務環境委員会
条例改正
文書だけでは無くということを感じる
認識を改めないといけないのはトップ
観光文化交流局 新しくできた
私が出たとき 2万人アンケート 市民経済局

切り離れた

観光文化交流局はどうか

きちんと反省して二度と起こさないように

市長、副市長含め

最後、局として 信頼を取り戻す

二度とこのようなことを起こさないために局としてやっていくのか

局長：残念な話

障害がある方の声は様々

栄駅 3回エレベーターを登らないと

車いすに「我慢せえ」

日々の生活 様々な場面で「我慢せえ」

文字だけではいけない 人権

以前から名古屋市は障害者施策充実

二度と起こさない

岩本たかひろ(自民・緑区)：終わる

10:15

おか千恵(公明・中村区)：職員の対応

研修されてきた 周知していたのか

担当主幹：市職員にルール作成

周知してきた

力不足 反省

おか千恵(公明・中村区)：我が会派

対応要領 求めてきた

共生社会を求めてきた公明党として、とても残念

各局にも周知

岡田ゆき子(共産・北区)：DVD で見た

ショック、車いす男性発言 暴言に「そうじゃない」かすかに聞こえる

市の設備整備 聞いてきて吐き気

重大で深刻

健常者だから分からない

エレベーターいらない障害者もいる
対立させたのは大いに反省しないと、障害者が立ち上がれない
市長「熱い討論でよかった」意義を認める
市長の下でバリアフリー対応
人権軽視の発言 木造復元に関し、「本物復元」にこだわる
差別発言
障害者権利条約 国際的な水準
どんなことがあっても国際水準につなげる
2011年改正 障害者基本法
「がまんせい」「ずうずうしい」
マイノリティ 差別的発言
なぜなのか

担当主幹：改めて認識

討論会で障害者揶揄発言
身体的なハンディキャップ発言は差別用語
様々な差別

岡田ゆき子(共産・北区)：時間を掛けて条例つくった
障害者からの意見でできた
起きてはならない どうしていくか
マイノリティが位置づけられているか
もう1つ危惧 DVD ネット配信は停止されたが
テレビでも報道 影響は大きい
世界中が建造物作る
何が起きたか検証無しにはだめ
影響を受けた人がいると想定

担当主幹：今回の件の検証

起きないように検証していく必要
まずは明日16日 当事者、有識者
協議会がある
その場で検証
関係局とも必要な対応検討

岡田ゆき子(共産・北区)：終わる
河村市長が主導でやる

バリアフリー 現代の水準
エレベーターつけるかつかないかの議論
元に戻す 木造復元自体、みんなに見せる
内覧、文化施設にするのか
観光文化交流局の議題になる
人権の問題

伊神邦彦(自民・千種区)：昨日の新聞 市長ドタキャンため息
「出席するつもりだったが、健康福祉局から
私たちが出席するのでご遠慮」本当か？

局長：「私どもで」は事実
当日障害部長に要望書 市長に日程調整
市長としては、当初はご自身が会いたい
そうであれば健康福祉部の方で
私が出れないと伝えて
観光文化交流局 「市長が出席する」連絡
情報が共有されていなかった
申し訳なく思う
直接市長と会って、意見を言う場

伊神邦彦(自民・千種区)：ドタキャンため息
現実には事前に話があって、すれ違い？

局長：見出し どう判断していいのか
事実は上記

伊神邦彦(自民・千種区)：わかった
新聞記事 朝日新聞
行政のトップは直ちに非難を
「市職員が非難すべきだ」
市長は発言者に非難したか

局長：6/6 朝日新聞 市長が非難メッセージを
把握していない

伊神邦彦(自民・千種区)：市長の対応 考え方

お詫びはしたが差別を受けた人
発言した人がお詫びする人
市は市民に
トップが強いメッセージを出すべき
名古屋市は「ちゃんと見ている」
被害者救済 健康福祉局の問題では

局長：強いメッセージ
市長 発言 差別とは認識
健康福祉局 明日協議会
様々な場で反省 発信

伊神邦彦(自民・千種区)：今後の反省述べたい
被害を受けた方と、いくらかでも回復
「それは絶対いけない」健康福祉局
市長が言えないならいけないでよい
健康福祉局がお詫び
発言者に「絶対いけない」
救われない

委員長 吉田茂(自民・港区)：他にない
これで終了
10：36